

令和4年度 第8回役員委員合同会議 議事録

日時： 令和4年12月11日（日）午前9時30分～11時45分
会場： コール田無 会議室 A 司会： 久保田
出席者： 小垣原、白岩、伊藤、小林（太）、安倍、安松、松本、矢部、鶴田、水井、久保田、濱田（以上、座席順） 欠席連絡： 垂水、山本、西村、菊池

<支部長挨拶>

早や師走となりました。一年が早いですね。一か月の間でもいろいろなニュースや打合せなければならぬことがありますので、本日も宜しくお願い致します。

<報告事項> 11月13日～12月10日

- ・ 会計、総務関係（久保田）
年会費納入状況： 納入 62名（中村智也さんが納入後に休会） 未納 4名 現在会員数は 65名
11月末時点での会計収支： 収入 613,760 支出 313,298 残金 300,462
年度末に、3月末時点での会員名簿を更新・作成する。
- ・ 会報新年号の第36号は1月下旬完成を目標に編集作業を進める。支部長新年挨拶、BBQ、新入会員歓迎会記事に新入会員の名前、卒年と学部を簡潔記載、新春交流会のお誘い、20周年寄付願い、私の学生時代（小垣原さん）、大学関係、地域支部関係のニュースや予定を掲載する予定で中村委員長に製作依頼。記事の字サイズが小さくなる可能性あり。（中村さん代役の濱田）
- ・ 会員交流推進活動の現状と問題点（松本）
19件訪問しても直接会うことができる人は少ない。50歳未満の校友には10/末時点で資料を郵送したが返信はゼロ。土日は女性でも仕事している人が結構いる。中町のキモトさんを訪ねたら、既に飯倉さんが会のPRをしてくれていた。富士町の飯田敬一さんは体調不良で奥様に資料を渡した。
- ・ 終身会費を予納すると卒業時に自動的に校友会員となり、居住地の支部に所属すると校友会は謳っている。そして支部の方では、直接所属するのは地域支部だと強調している。しかし地域支部活動に校友会からの資金援助が無く、全て自前で活動せよという。これでは終身会費を納入した人は、何のために終身会費を払ったのか疑義を持つはず。この矛盾を解決するために、会員と校友の区別（仕切り）を緩やかにして、いろいろな機会を通じて会員と校友の一体化を果たして行きたい。そのためメールアドレス公開者に昼食会などのイベント案内・お誘いや既報の会報電子版を送っているが、今後もそれを継続して、西東京モデルを作るべく試行して行きたい。（濱田）

- ・ 11/27 2022年の新入会員歓迎会は、新入会員4名（安倍、丹野、宮川ご夫妻）を含めて16名で実行。4名の費用は会が負担し他の会員は4000円の会費としたが、物価高騰で同レベルの飲食内容だと5000円会費でないと収支が合わないとの報告。これについて、先々は飲食内容に制限を設けて3000円とか4000円などの廉価での開催も検討すべきという意見、廉価で回数を増やす工夫がいるという意見があり。（伊藤、久保田）
- ・ 従って本日の役員忘年昼食会も5000円会費で行う。当然ながら会からの補助は無い。（伊藤）
- ・ 会報第35号の配布時に得た会員情報が委員から述べられた。（地域の世話役委員）
 例えば来年5～6月になれば活動参加ができる会員、現在デイサービス通所中、入院手術後で体調回復中など、イベントに参加しない会員には時々顔出ししてコミュニケーションを保つことが大切…といった意見あり。休会中の櫻井さんには西東京のイベントに参加を要請（安松 etc.）
- ・ 春の街歩き先については現在思案中。いろいろなアイデアを皆さんから頂きたい。（久保田）
- ・ ホームページは現在「新入会員歓迎会」まで掲載されている。時々HPを開いて観てほしい。「新入会員歓迎会」の開催結果報告文は伊藤幹事長が本日（12/11）中に作成する。（濱田）
- ・ 12月のリモート懇親会は、12月17日（土）19.30から行う。
 話題は「私のお奨め街歩きコース、飲み屋、お食事処」（濱田）
- ・ 中央大学 西東京白門会から会報を受取り。西東京白門会でも会員増強で苦労している。総会ができず、意見交換会を開いたとのこと。（濱田）
- ・ 来春のゴルフ会について、北区地域支部などから参加させてほしい旨の希望あり。その旨、飯倉さんに伝え、本案は歓迎された。日程案が決ったら幾つかの地域支部長に連絡する。（濱田）
- ・ 隣接地域支部との連携街歩き提案あり。（例えば豊島区と文京区の共催等）（濱田）
 地域支部間でのイベント共催について、気運が芽生えつつある。
- ・ 北部支部関係について（濱田）
 - ＊ 12/20（火）北部支部役員会議・忘年会
 - ＊ 11/5（土）豊島区地域支部総会の報告
 公共施設 IKE Biz で開催、総会は15分とスピーディ。懇親会は着席で箱弁とビール。時間が十分あったので、白砂名誉支部長、三森支部長の他に、5地域支部長もそれぞれ挨拶（荒川は欠席）。加えて豊島会員のスピーチもあり、アットホームな懇親会だった。
 - ＊ 11/19（土）練馬区地域支部総会、及び創設70周年記念式典の報告
 光が丘のホテルカデンツァにて開催。総会、記念式典、記念講演会、懇親会の4部構成。

記念講演会は北野会長の「きょういく・きょうようの勧め」、懇親会では佐藤支部長始め北野会長、大六野学長の挨拶。練馬7大学の各校友会の代表も出席し、盛大な記念式典・懇親会であった。佐藤支部長や北野会長、大六野学長は何度も挨拶した。

- * 1/21（土） 北区地域支部新年会（総会の代替：北区は総会には出席要請なし）
- * 1/29（日） 明治大学発祥の地記念碑祭については北部支部で種々の準備進行中。
- * 年会費徴収方法の変更については反対多数のため議論停滞、北部支部総会案内に他書類を同封する案については議論の入口に立っている状況（北部支部役員会議の議事録を添付）
「必要な支部は費用負担した上で本プログラムに参加すれば良い」と前回の役員会議で意見を述べたが、板橋は費用・作業負担した上で独自の書類を封入できるかと三森支部長に質問中。

<協議事項>

- ・ 会則の慶弔規定変更について、議案書添付資料中の久保田案2で改正すべく次期総会に提案する。慶弔を伴う経費は「支出しない」が大原則であることを出席役員全員で再確認した。
- ・ 1/8の役員委員会議後の新春挨拶昼食会は行わない。
- ・ 2/5（日）に役員委員会議（安松さんは欠席）
- ・ 2/25（土）12.00～ 新春交流会（場所、会費については支部長、幹事長に一任）
- ・ 「西東京市地域支部設立20周年記念事業準備委員会での発案で協議すべきこと」は本日時間切れのため、以下の協議は次回に持ち越し。

記念誌発行とマンドリン演奏で概算60万円という前回報告の算出根拠は？

費用捻出方法の具体案について前回報告では、

- 1) 会の収入から（例えば）3年間で14万円ずつ積み立てる
- 2) 会報でお願いして寄付を募る（会報第35号で掲載済）。
- 3) 記念誌を有償にすると買わない人が出て、結果として発行数が下り単価は上昇しないか？
記念品は必要か？財源は？
- 4) その他の方法

参考： 練馬区の創設70周年記念の70年史

A4で70ページ（内容が多いため文字を小さくした）、編集は外部委託、200部製作で50万を要した。加えて、創設70年を記念して、奨学金目的で大学に20万を寄付。

次回は1月8日（日）9.30からコール田無にて